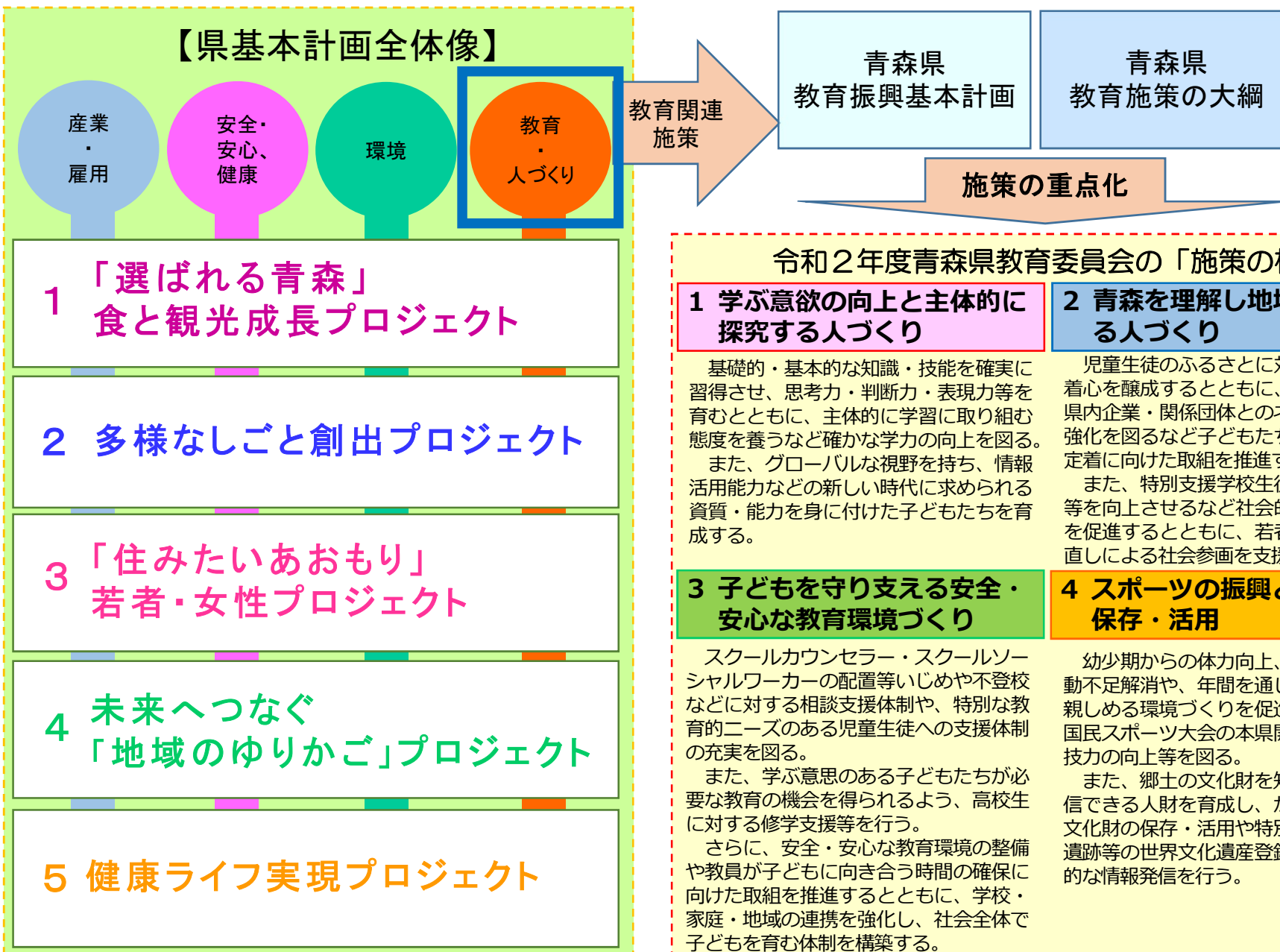


第12回青森県総合教育会議

本県教育の現状と課題を踏まえた
教育施策の方向性について

令和2年10月21日

教育施策の位置付け

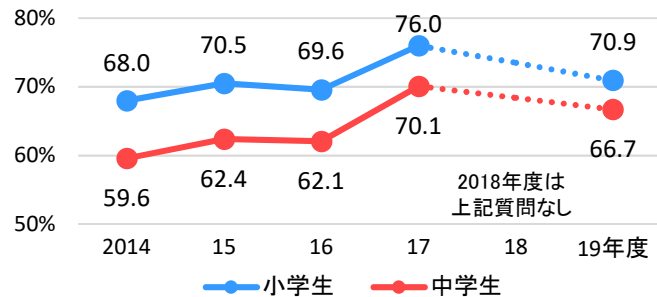


1 学ぶ意欲の向上と主体的に探究する人づくり

現
状

○学習に関心・意欲を持つ子どもの割合

総合的な学習の時間において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる(%)



資料: 文部科学省「令和元年度全国学力・学習状況調査」

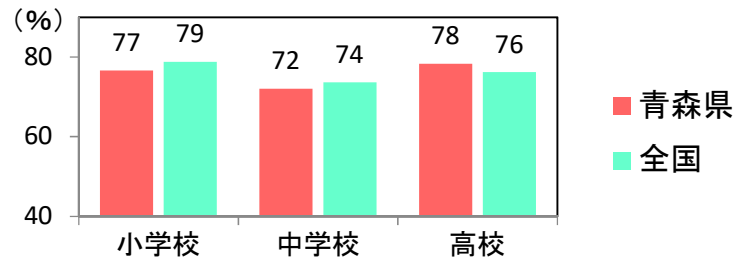
○高校生の英語4技能の能力分析

Reading	Listening	Writing	Speaking
57%	46%	79%	76%

<国が求めるCEFR:A2レベル(英検準2級程度)以上の割合>
※令和元年度県内高等学校1学年希望者約3,600人の調査結果

○教員の授業中にICTを活用して指導する能力(H30)

※「できる」若しくは「ややできる」と回答した教員の割合



資料: 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

課
題

- 新学習指導要領が求める資質・能力を身に付けさせること
- 新学習指導要領に対応した英語教育の実践と児童生徒の英語力向上
- ICTを活用した学習活動の推進

取
組
の
方
向
性

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、児童生徒の情報活用能力の育成
- 教員の英語力・指導力向上による、児童生徒の英語力向上、小中連携の促進、及び高校生による海外との相互交流(台湾等)の推進
- ICTを活用した学力向上や学習支援の推進のための教員のICT活用能力・指導力の向上、ICT環境の整備

2 青森を理解し地域で活躍する人づくり

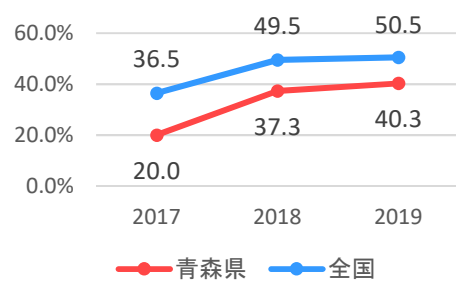
現
状

○新規高等学校卒業者の県内就職の割合

卒業年	県内 就職希望者	県内 就職者
	前年5月時点	当年3月末時点
平成31年	62.8%	53.3%
令和2年	63.1%	53.1%
令和3年	64.1%	—

資料：青森労働局

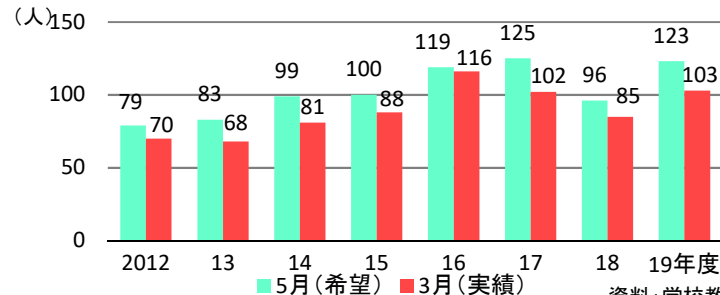
○地域学校協働本部の設置率



※地域学校協働本部とは、幅広い地域住民や、団体等の参画により、地域と学校が連携・協働して、学びによるまちづくり、地域人材育成、郷土学習、放課後等における学習・体験活動などを通じて地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進する体制(視点)。

資料：文部科学省「地域と学校の連携・協働体制の実施・導入状況」

○特別支援学校高等部生徒の就職状況



資料：学校教育課

※未就労者は就労移行をめざす事業所等に進んでいる。

課
題

- 新規高等学校卒業者の県内定着率向上
- 地域課題の解決に向けた人財の育成
- 地域全体で子どもたちの成長を組織的・断続的に支える仕組みづくり
- 特別支援学校児童生徒の自立と社会参加に向けたキャリア教育・職業教育等の充実

取
組
の
方
向
性

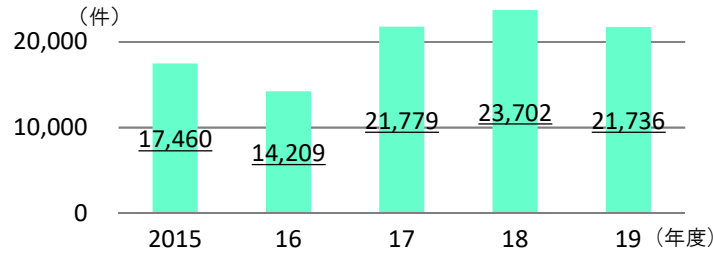
- 県内企業等とのネットワーク活用による職業教育の充実、就職支援員の活動充実
- 全国産業教育フェアの開催を通じた産業教育の充実
- 地域への誇りや愛着の形成による地域に対する貢献意欲の向上、若者が交流する仕組みづくり
- 地域学校協働本部の普及促進、地域学校協働活動推進員等のコーディネータ育成
- 児童生徒の進路に対する自己選択の意識向上、特別支援学校技能検定・発表会等による職業スキルの育成

3 子どもを守り支える安全・安心な教育環境づくり

現
状

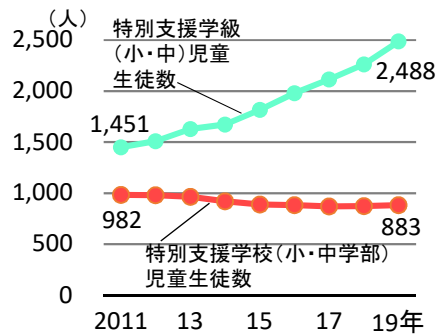
○スクールカウンセラーのべ相談人数（小・中・県立学校）

※県教育委員会実施事業分



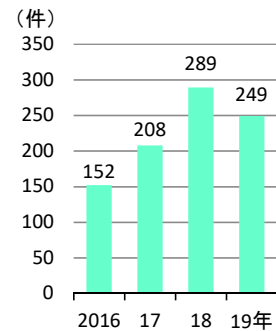
資料: 学校教育課

○特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒数



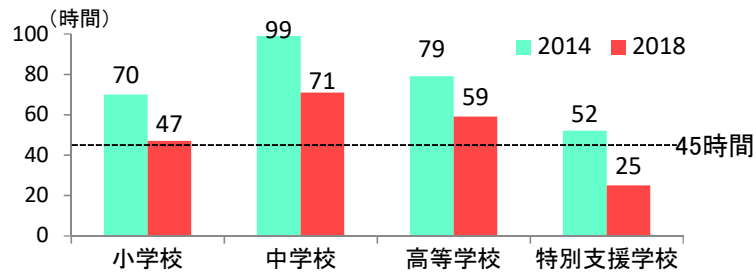
資料: 学校教育課

○巡回相談における通常の学級に対する相談件数



資料: 学校教育課

○教諭・講師の月当たり時間外勤務時間



資料: 教育庁「学校における働き方改革プラン」

課
題

- 学校のいじめ防止対策の充実
- 特別支援学校における教育相談対応の充実、発達障害等の児童生徒に対する校内支援体制の充実等
- 少人数学級編制の継続
- 教職員の働き方改革の推進

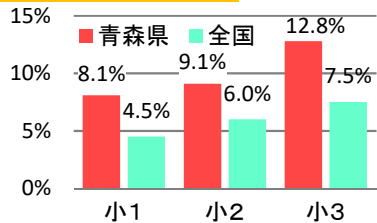
取
組
の
方
向
性

- いじめ防止対策推進法の理解促進、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの効率的・効果的な配置・派遣
- 教育相談及び特別支援教育の専門性向上による特別支援学校のセンター的機能の強化
- 新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた少人数学級編制
- 外部人材の活用や、統合型校務支援システムの稼働

4 スポーツの振興と文化財の保存・活用

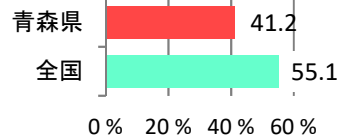
現
状

○肥満傾向児の割合



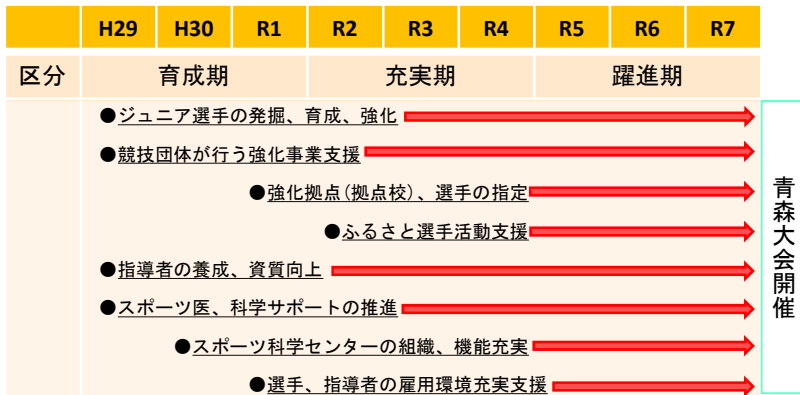
資料: 教育庁
「令和元年度児童生徒の健康・体力」

○成人のスポーツ実施率 (週1回以上)

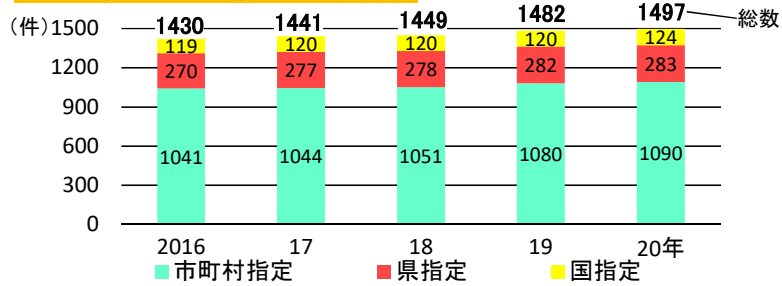


資料: 教育庁「県民のスポーツに関する調査(2018)」
スポーツ庁「スポーツの実施状況に関する調査(2019)」

○第80回国民スポーツ大会に向けた強化の方向性 (主なもの)



○国・県・市町村指定文化財件数



課
題

- 小学生の体力向上、肥満防止にかかる取組の推進
- 幅広い世代での運動習慣の定着
- 国民スポーツ大会の開催等を見据えた競技力の向上
- 文化財の活用や保護意識の醸成、地域全体での継承
- 「青森県文化財保護大綱」に基づく保存・活用の推進
- 三内丸山遺跡の保存・活用

取
組
の
方
向
性

- 楽しい体育へ向けた授業改善、運動実施時間増加のための取組の充実
- 親子体操教室や交流会による親世代や高齢者への運動機会の提供
- 強化拠点校・選手の指定など取組の充実
- 地域の文化財を活用した若い世代に対する学びの機会の充実
- 各市町村と連携した文化財の保存・活用の推進、及び価値・魅力の普及啓発
- 三内丸山遺跡資料のデジタル化や多言語化など多様な来場者のニーズに応じたサービスの充実、及び利便性の向上